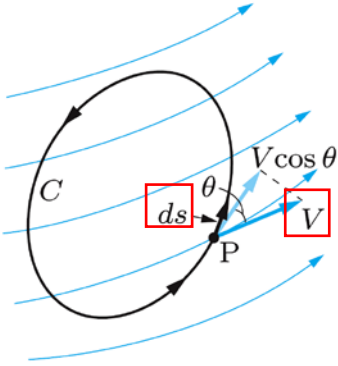


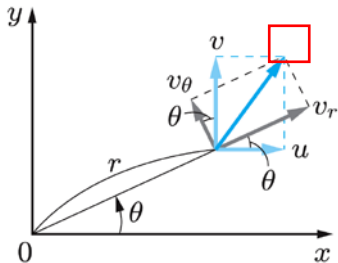
## 流体力学(第2版) 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年4月12日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2	vi	記号表	$\mu$ 粘性係数	$\mu$ 粘度 (または粘性係数) ※本文中に出てくる「粘性係数」についても同様に修正する。
1,2	vi	記号表	$\nu$ 動粘性係数	$\nu$ 動粘度 (または動粘性係数) ※本文中に出てくる「動粘性係数」についても同様に修正する。
1,2,3,4,5,6	16	図 2.6	(図の右端) $p + \frac{dp}{ds} \Delta x$	$p + \frac{dp}{ds} \Delta s$
1,2,3,4,5,6	34	式③	$\dots \cong \frac{dr}{dr} r dr d\theta$	$\dots \cong \frac{dr}{dr} r dr d\theta$
1	35	3行目	$\dots$ 図 2.18 に示す. $\dots$	$\dots$ 図 2.18(b) に示す. $\dots$
1,2,3,4,5	37	図 3.1		$ds \rightarrow ds$ $V \rightarrow V$ 赤字部分を太字に訂正

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2,3,4,5	39	図 3.4		V 図の赤枠内に追加
1	46	3行目	この式(3.24)より…	この式(3.29)より…
1,2	82	例題 4.3 9行目	… $\lambda_1 = 0.0123$ , …	… $\lambda_1 = 0.0213$ , …
1,2	108	5行目	$\frac{\partial^2 u}{\partial y^2} \sim O(\delta^2)$	$\frac{\partial^2 u}{\partial y^2} \sim O(\delta^{\ominus 2})$
1,2,3,4,5	140	9行目	$h = e + pv = \frac{v}{2RT} + RT = \left(\frac{v}{2} + 1\right)RT$	$h = e + pv = \frac{v}{2}RT + RT = \left(\frac{v}{2} + 1\right)RT$
1,2,3,4,5,6	187	下から 4行目	…, $y/\delta = \eta$ とおくと,	…, $y/\delta = \eta$ とおくと,